企業・団体名（　東京電力パワーグリッド株式会社山梨総支社　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	【確認済み】 性的マイノリティ理解・支援促進イベントや「Allies In TEPCOネットワーク」の定例ミーティングを定期開催している。 ・2021年８月に「東京電力グループ人権方針」を策定し、東京電力グループのみならず、サプライヤーを含むビジネスパートナーの事業活動が 、ステークホルダーの皆さまの人権に影響を与えうる可能性 があること を認識し、サプライヤー を含む ビジネスパートナーの皆さまに対しても、本方針の内容を理解・支持いただくことを 求め ると ともに、 本方針が尊重されるよう、継続的に働きかけています。 1 人身取引および強制労働、児童労働の禁止 2 結社の自由および団体交渉権 等 の尊重 3 多様性の尊重 および機会均等 4 あらゆる形態の差別 やハラスメント、いじめ、不公平な扱いの禁止 5 適正な労働時間の管理と過剰な労働時間の削減 6 最低賃金の確保と生活賃金の支持 7健康かつ安全な職場環境の確保健康かつ安全な職場環境の確保					○			○		○							○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	【整備されている】 各種ハラスメント対策の研修を継続的に実施し,確認テストに合格するまで学習を実施するなどの対策を持っている ・人権尊重に対する各種規定を整備済み ・ｅーラーニングを始めととした継続的な教育を実施 ・相談体制は社内および社外委託した相談窓口を設置					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	【いない】労働時間に関する社員への冊子による啓発や、管理者に対する服務管理研修を継続するなど、システム等の多重チェックも含めて長時間労働抑止に対応している。（週に水曜日の定時退社日を設定） ・36協定に基づいた的確な労働時間管理を実施　実労働時間、時間外労働時間の削減、休暇取得の推進を進めている。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	【確認済み】平時より、様々な社員含めた相談窓口を解説しており、それらには懲戒にも紐付いた組織として運用しおり、現時点での差別・侵害はない事を確認している。 ・上記人権方針の取り組み「4 あらゆる形態の差別 やハラスメント、いじめ、不公平な扱いの禁止」は人種、皮膚の色、性、言語、宗教、国籍、年齢、性的指向・性自認・性表現、障がいの有無、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位またはこれに類する あらゆ る事由による差別と対象として取り組んでいる。				○				○		○								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	【体制含めて整備済み】 ・法令に基づいた各種規定を整備し安全に対する取り組みを実施 災害発生時での類似災害防止への展開（各組織のミーティング等を活用し検討会を実施）や、請負工事会社含めた安全衛生体制とＫＹの推進、またこれらの事故例検討による再発防止策についても共有し「作業・交通・公衆安全の確保」に取り組んでいる。			○					○										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	【維持対策実施済み】 法を遵守すると同時に、相談窓口やストレスチェックによる情報分析や、産業医による面談を実施するなど、全社員を対象とした啓発活動により「予防・ケア・再発防止」に取り巻くんでいる			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	【整備されている】 ・女性社員の人材育成，管理職登用、障がい者の雇用と環境整備、シニア人材の活用施策の展開に積極的に取り組んでいる。 半期毎の目標に対しての自己評価や面談に併せ、年度での職域への希望も含めて多種多様な働き方と・スキルアップを含めた人材育成を兼ねた起業の機会も用意されている。					○			○		○								
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	【実施済み】 法令を上回る休暇（特別休暇）の設置により、個人のライフスタイルに合わせたリフレッシュや地域活動への貢献も含めて推進している。 ・健康経営は重要な課題と認識、健保ともタイアップし予防接種や衛生用品、健康イベント参加への補助や文化会活動としてスポーツイベントなども開催			○					○										
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	【多様な機会あり】 多種多様な働き方と・スキルアップを含めた人材育成を兼ねた起業の機会も用意されている。 ・職位に応じた多様な研修メニューも用意されている。				○				○	○								

10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	【確保有り】 結果のみの評価とせず、プロセス評価も取り入れ、企業倫理遵守・安全最優先・コミュニケーション力・グループ総合力などへの貢献を、雇用形態毎の基準に沿い複数の客観的な視点で評価している							○		○								
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	【努めている】 ・廃棄物処理法に基づく廃棄物処理マニュアルを定め，廃棄物の適正な処理を行っている。 法令遵守に向けた計画的な廃棄と対応についてスケジュール化を実施し、その中での効率化を模索。また法改正に柔軟に対応するよう本社関係箇所と連携し対応している。 ・分別を心がけ廃棄物の削減に取り組んでいる。										○	○		○				
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	【進めている】 電力インフラ企業として、自社用電力における省エネ化や、効率化に繋げるソフト・ハード面での取り組みを継続して実施中						○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	発電端での総排出量削減は元より、再生可能エネルギーへの転換や、原子力発電の再稼働に向けた社会の皆さまへの理解活動を含め展開中						○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	【実施している】 油入機器の保管管理や巡視含めた定期的な確認と、大型機器における精密点検時の確認作業も含め実施している。 ・法令に基づいた計画的な処理を実施		○			○				○	○						
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	【実施している】 環境に影響のある物質等の保管場所や保管方法を含め、巡視含めた定期的な確認と、大型機器における精密点検時の確認作業も含め実施している					○								○			
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	【実施している】 山梨の事業所の水道使用量を一括で管理し、利用の改善や有効活用に取り組んでいる					○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	【取得無し】過去に取得有り		○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	【開示している】 自然との共生・生物多様性保全に向けた取り組みを２０１０年４月に制定し、自然強制社会の構築に貢献すべく、①環境負荷低減②社有地等での希少種の保全③生物多様性保全に関する理解活動の取り組みを進めている。また施工に当たり条例に基づく情報開示も実施するなど、幅広く声を集め工事へ反映していく											○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	【進めている】 電力のゼロエミッション化として、太陽光発電の法人さまへのオンサイト、オフサイトによるエネルギーサービスと、家庭向けの電化パッケージも用意。養生風力では公募入札で開発を推進。水力のリパワリングによる信頼度向上と長寿命化、発電電力量の増加を推進。また､ゼロエミッション火力では２０３０年までの非効率石炭火力の全台停止と、アンモニア・水素混焼の取り組みを推進						○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	【実施している】 既存設備の利活用（電線の張替でなく足し線等の再活用））											○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	【推進している】 リデュースとして、発電時の環境負荷への発生を少なくする発電方法の推進。リユースとして、使用済み製品の繰り返しではＥＶのバッテリを再利用した蓄電システムの開発と提案を展開。リサイクルでは、各建屋での資源の分別と再資源化を推進している					○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	【教育している】 企業倫理を始め､法令遵守などの厳正的確処理は新経営理念にも掲げて社内で意見交換を実施するなど浸透と理解を含めた教育に対応している。 ・企業倫理行動基準を定め、適宜各種コンテンツによる教育を実施 ・企業倫理相談窓口（社内・社外弁護士ライン）を設置															○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	【教育している】 電力自由化以降も、定期的な個別教育により、継続した研修を個々が実施できる様にしており、最終的な試験を経て理解を深めている															○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	【進めている】 定期的な個別教育により、継続した研修を個々が実施できる様にしており、最終的な試験を経て理解を深めている							○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	【管理している】 ・個人情報の保護に関する基本マニュアルを制定し 定期的な個別教育により、継続した研修を個々が実施できる様にしており、最終的な試験を経て理解を深めている。また実際の知りようについてもデータ上での持出の承認や,鍵付きのロッカーへの保管など日々実施している															○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	【取り扱っていない】 サプライチェーンを含め、環境負荷の少ないグリーン調達を推進しており「紛争鉱物」の取扱はない															○	

27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	【実施している】 東京電力グループとして、各企業さまへＳＤＧｓの取り組みのお手伝いを推進しており、様々な商材含めた意識の元にグループ会社一丸となって進めている。特に安全衛生については日々のパトロールや安全大会での周知なども進めている。 ・東京電力グループ人権方針」は、東京電力グループのみならず、サプライヤーを含むビジネスパートナーの事業活動も対象範囲として取り組んでいる」。					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	【構築している】 ＨＰでの停電時における注意喚起や、各自治体への災害時での協力体制と② 自治体さまとの連携による計画的な事前伐採による電力安定供給におけるリスク軽減。更には 各自治体さまと「災害時における電力復旧のための連携等に関する基本協定」の締結を積極的に実施するなど、電気事業者として、自治体さまと連携し、防災の取り組みを強化し安定供給の役割を果たしてまいります。			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	【確立している】 安定供給に対するソフト・ハード面での効率化と環境への負荷と平行し、地域貢献に繋げる意味でのフロント活動を推進し、マーケットインの視点で全社員の研修を実施中。また2050年カーボンニュートラルに向け、電気事業者の立場として各自治体さまと連携しクリーンなまちづくりに貢献してまいります。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	【進めている】 渉外活動では各行政に対する脱炭素へ繋がる電力利用や効率化と、製品の利活用を提案し、まちづくりの推進に取り組んでいる						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	【進めている】 ＥＳＧのみならずＳＤＧｓの達成に向けた,様々な商材の紹介を実施している。 （パートナーズナビ・ＥＶの普及拡大の推進・ＣＮなまちづくり推進等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	【取り組んでいる】 主催される方からのニーズ確認をはじめ、社内での取り組みを山梨県内の特性に照らし合わせ、防災への提案や地域貢献に繋げる研修･イベントに協力。 ＥＶ100の宣言のもと、2030年までに業務車両（特殊車両等を除く）を電動車へ移行 し、山梨県内の車両のＥＶ化に向け、各自治体さまおよび各企業さまと連携し、クリーンエネルギーに資する取り組みを推進します				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	【取り組んでいる】 特別休暇（ボランティア）制度による後押しも含めて,自身の住む地域を良くする事が社会貢献であり活性化に繋がる事と周知し積極的に取り組んでいる				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	【実施している】 地域資源としての太陽光発電や、山梨県が主導する水素エネルギー（ＹＨＣ）への参画などにより、地域資源の積極的利用を推進。各家庭や法人向けにも電化メニューを発信し,脱炭素社会と経済的な暮らしへの提案もグループ大で進めている								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	【浸透している】 定期的な個別教育により、継続した研修を個々が実施できる様にしており、最終的な確認試験に合格するまで理解を深めている																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	【実施している】 経営理念については社員に対して､経営層が直接その意味について説明し意見交換を実施している。またＳＤＧｓについては､以前のＭＤＧｓからの経緯を含めて社内で教育を実施し、カードゲームや定期的な個別教育により、継続した研修を個々が実施できる様にしており最終的な試験を経て理解を深めている								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	【整備されている】 倫理研修に加え、各グループ単位でのディスカッションなど,自分事として捉える体験型研修を全社員対象に展開している																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	【整備されている】 倫理研修に加え、各グループ単位でのディスカッションなど,自分事として捉える体験型研修を全社員対象に展開している																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	【整備されている】 年度毎に地域経営に資するリスクマップを作成検討・検証し、自然災害はもとより、システムトラブルや、サイバーテロ、需給ひっ迫等の様々なリスクに対しての対処や訓練を進めている																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	【進めている】 １９９７年１１月制定（２００３年３月改定）企業行動憲章によりグループ全体としての果たすべき行動理念について制定し、時々の状況を踏まえつつ取り組みを進めている																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	【対応している】 日々の渉外・フロント活動をはじめ,ステークホルダーのご参加を頂き、半期毎に様々な当社の取り組みに対してご意見を頂き場を別に設定し、地域経営へ反映している。																○	○

42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	【立案している】 ライフライン企業として過去の災害を教訓に対策と改善を重ねて、適切な情報発信と、早期復旧に向けた取り組み、県民への影響のある需要等を配慮しつつ、日々訓練を重ね対応を進めたい。また２０２２年１０月に山梨県の締結を完了した「防災基本協定」に基づき、連携を実施する 毎年のリスクマップにより、自然災害、システムダウン、サイバーテロ、需給ひっ迫等の様々なリスク対して検討をしている									○		○		○			○	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済								○	○									○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
脱炭素・まちづくりに繋げる活動（ＣＮ）	カーボンニュートラルから広がる様々な施策を検討し、エコツーリズムやマイクログリッド・カーボンニュートラル等の検討と関係組織との意見交換を進め具現化を目指す。また人の賑わいや、これからの循環型社会に向けた様々な提案を複合し、脱炭素と災害に強いまちづくりに向けた提案を推進する。更には他企業と連携し、地域の活性化に向けた取り組みから、これからの課題を抽出しパートナーシップで目標達成に向けて取り組んでいる。							○				○		○				○
山梨県様との脱炭素の連携	「ストップ温暖化やまなし会議」をはじめ「やまなし脱炭素モデル事業検討会」への参画等、これからのエネルギーについて連携している。また山梨の水素エネルギーの活用に対する、クリーンなエネルギーの活用についてもグループ大にて参画している							○										○
電力強靭化対策としての災害時における基本協定の締結と事前伐採の推進	山梨県下と締結した協定に基づく、災害時への対応と、それらを予防すべく展開している事前伐採を推進している																	